

「ほっといたらあかんやん！第13回大阪湾フォーラム」の概要

○日 時 平成29年3月4日（土）10:00～17:00

○場 所 神戸市立須磨海浜水族園

○主 催 大阪湾見守りネット、神戸市立須磨海浜水族園、大阪湾環境保全協議会、
国土交通省近畿地方整備局神戸港湾空港技術調査事務所

3月4日、神戸市立須磨海浜水族園において、第13回大阪湾フォーラムが開催されました。CIFER・コアは後援団体として参加し、2階レクチャールーム前で活動内容等を紹介するパネルを展示しました。

展示会場には高校生が実施した研究をまとめたポスターも展示され、生徒たちが会場を訪れた人々に解説を行う場面も見られました。

午後は、1階の大水槽前にステージが設けられ、一般の来場者も行き交う中で講演会が行われました。今年は「まあいい大阪湾・須磨でひっぱりだこ」をテーマとし、大阪湾の西側・明石を中心としたエリアにフォーカスした内容となりました。公演は、テーマの「たこ」の8本の足にちなんで、①歴史、②食、③遊び、④環境、⑤生業、⑥砂浜、⑦川と池、⑧街と港、の8つの視点から、専門家などによる講演が行われました。

特に注目を集めたのは高校生による取り組みで、兵庫と大阪から4校5チームが研究や活動内容の発表を行い、高校生たちはそれぞれ自分たちの住んでいる地域の海の汚さ、ゴミの多さに衝撃を受け、行動を起こす必要を感じたと話し、また、環境改善への取り組みを世界に広げたいとの展望を意欲的に語っていました。

